

「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「5GHz帯無線LANの周波数帯拡張等に係る技術的条件」の検討開始について

1 検討開始の背景

近年、スマートフォンやタブレット端末等の普及により、移動通信システムのトラヒックは年々増加傾向にある。そのため、急増するトラヒックを迂回するオフロード先として無線LANを活用する傾向にあり無線LANが混雑することが想定されている。

加えて、2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を見据え、無線LANをつながりやすくするため、無線LANの利用増加を考慮した使用周波数帯の拡張が重要となっている。

また、将来的なトラヒック増加に対応するため、5GHz帯無線LANの使用周波数帯の拡張について、各国との整合性を図りつつ導入に向けた制度整備が必要となっている。

このような背景を踏まえ、5GHz帯無線LANの周波数帯拡張等に向けて必要な技術的条件について検討を行うものである。

2 検討内容

5GHz帯無線LANの周波数帯拡張等に関する技術的条件

3 検討体制

既存の陸上無線通信委員会（主査：安藤 真 東京工業大学理事・副学長（研究担当）産学連携推進本部長）において検討を行う。

4 答申を予定する時期

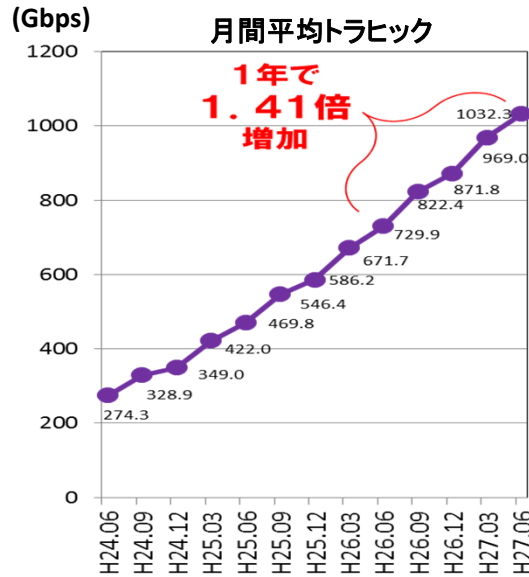
平成 28 年 11 月頃

5GHz帯無線LANの周波数帯拡張等に係る技術的条件の検討

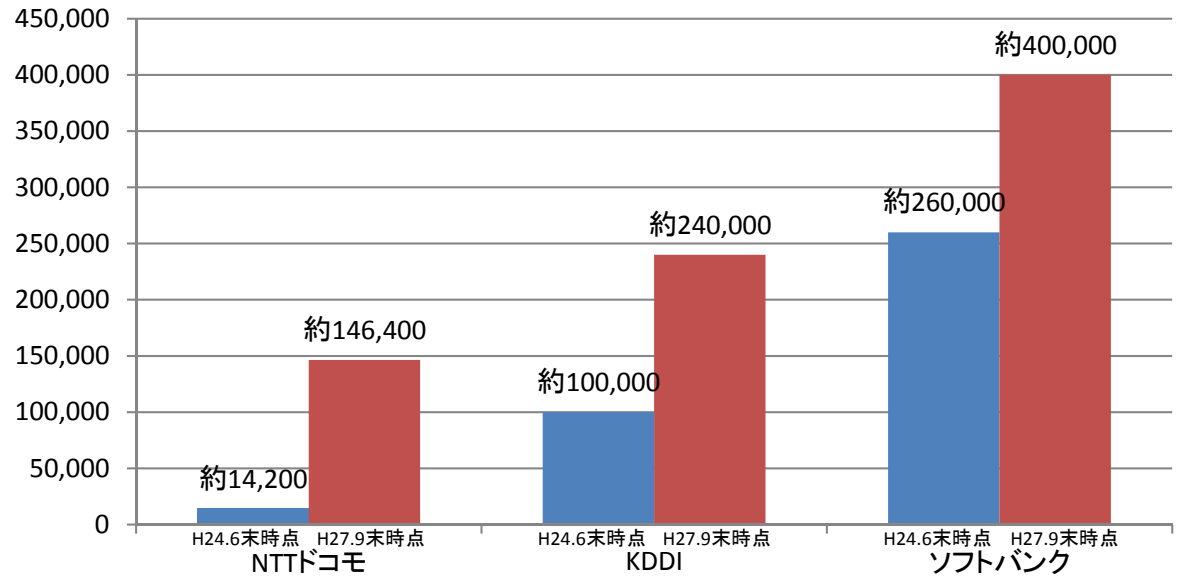
検討開始の背景

- スマートフォン等の普及により、急増するトラフィックを迂回するオフロード先として無線LANが混雑。
- 東京オリンピック等を見据え、無線LANをつながりやすくするため、使用周波数帯の拡張が重要。
- 使用周波数帯の拡張については、各国との整合性を考慮した制度整備が必要。

【移動通信データトラフィックの増大】



【オフロード用無線LANアクセスポイントの増加】



【5GHz帯周波数の使用状況(概要)】

